

青 雲 会 会 報

〒183-0005 東京都府中市若松町4-1-1

☎042-369-7761

No. 2 2

富山県学生寮ホームページアドレス/<http://www.toyama-ryo.or.jp>

本年の総会・懇親会は8月10日(土) 立山国際ホテル(富山・立山山麓)で!

是非御参加ください。出欠は同封の返信はがきでお知らせください。

青雲会の2013年総会・懇親会(総会は2年に1回、富山と東京で交互に開催。今年
は総会開催の年です)は、下記のとおり、8月10日午後4時から、富山・立山山麓の立
山国際ホテルで開催します。皆さんの参加を要請します。出欠については、同封のはがき
で、7月25日までにお知らせください。参加される方は、総会議案を掲載していますの
で、この会報をご持参下さい(返信はがきは「8月5日まで返信を」としてありますが7月25日までお願いいたします)。

記

〔日時〕 2013年8月10日(土)16時より(受付開始は15時です。)

〔場所〕 富山・立山山麓・立山国際ホテル

〒930-1454 富山県富山市原45

TEL (076) 481-1111 FAX (076) 481-1118

URL <http://www.tatekoku.com/index.php>

〔会費〕 宿泊者 15,000円

日帰り 10,000円

(参加申し込みには、必ず宿泊の有無をご記入ください。)

〔送迎〕 当日14時30分に富山駅北口にホテルの送迎バスが迎えにきます。

当日は16時から総会、終了後入浴等のあと18時30分から懇親会の予定です。

7月25日までに、同封のはがきで出欠およびご意見・近況等をお知らせください。

以上

なお、同日8月10日午前9時30分から高志会館(富山駅から徒歩5分)で富山県学

生寮の保護者会が行われ、青雲会の竹内伸二さんが「勤め人生活四方山話」との演題で講演されます。松山寮長から、青雲会の会員にも参加が呼びかけられています。

年会費（平成25・26年度分）納入のお願い

当会は年間1,000円の年会費を、2年分ずつお支払いいただいています。いつものことで恐縮ですが、今回は平成25・26年度の会費をお支払いいただきたく、お願いいたします。お手数ですが、同封の払込用紙を使って、ご送金ください（手数料は会が負担します。）金額は2年分・2,000円です。毎回会費を納入いただく会員諸兄には御礼の言葉もありませんが、会活動の源泉として、より多くの会員からの会費納入を心よりお願いする次第です。なお、銀行振込の場合は、北陸銀行東京支店・普通・4235260・青雲会名義口座へお願いしますが、この場合は手数料をご負担ください。恐縮ですがどうぞよろしくお願いいたします。

2013年総会議事資料

（1号議案）平成23・24年度事業報告

〔1〕会員数

平成25年4月現在 正会員1,257名（但し住所不明者が480名余り）
準会員 70名

〔2〕会合の状況等

①定期総会及び懇親会

2011年の青雲会総会は9月24日、東京五反田「ゆうぼうと」で開催され、若干の議論の後、すべての議案を採択した。吉森照夫さん（S43卒/弁護士・東京大学ボクシング部総監督・日本アマチュアボクシング連盟専務理事。裁判とボクシングを比較して裁判のあり方を論じた話が <http://www.yoshimori-law.jp/data/kantou.PDF>にある）の講演を聞き、その後懇親会に移り、和気あいあいの内に終了した。参加者は在寮生も含めて40名余、盛会だった

2012年（平成24年）は懇親会のみで開催となり、9月27日に同じく「ゆうぼうと」で行なわれた。また、松山寮長の尽力で、現役寮生の参加も多く（15名）、よい卒寮生との交流の場となっていた。

②幹事会／常任幹事会

通常の会務処理と学生寮・在寮生との交流のため、適宜常任幹事会を開催したが、今回も広く幹事を集める会合はできていない。今後の活性化のためには、各学年の幹事を確定することが必要であり、若い会員の幹事を増やすことが必要である。

〔3〕学生寮行事への参加

平成23年、24年度の寮祭、成人を祝う会、「追い出しコンパ」、入寮式、納涼祭等に、それぞれ青雲会の役員数名が出席し、青雲会予算によるお祝い金を渡すとともに、在寮生諸君と大いに交流している。それらの行事には在京の他の県人寮の役員の皆さんや富山県東京事務所の代表の方の参加もあり、幅広い交流ができています。

また、毎年夏に富山で開催される寮生のご両親等が集まる「保護者会」では、だいたい青雲会員が講演し、青雲会の存在をアピールしている。昨年は東京富山県人会の桑山会長の講演だったが、今年は総会の前（8月10日9時30分）に竹内伸二さん（S44卒）が講演する予定である。

（2号議案）平成23・24年度決算報告

・・・・・・当日配布いたします。

（3号議案）平成25・26年度事業計画案

〔1〕次回総会は平成27年東京で開催予定。懇親会は適宜開催する。

〔2〕会報の作成・送付。来年も、懇親会の開催の機に会報を発行する。同時に、年会費を支払っていない会員に対して、会費納入依頼を再度行なう。来年こそ会報発行担当者を若返らせる。

〔3〕寮行事への参加及びお祝い金の贈呈（役員に限らず、会員の参加を呼びかける）。

寮祭 成人を祝う会 入寮式 納涼祭 その他、機会を見て参加。

なお、富山県学生寮設立60周年が近づいており、何らかの行事が予定されるので、青雲会としてそれに協力する準備に着手する。

〔4〕名簿の整理を進める。住所不明者が多いので、住所等の調査の協力をお願いしたい。また、会員のEメールアドレスを知らせてもらっているので、できるだけEメールによる連絡ができるようにする。

特に若い会員は、EメールやSNSによる連絡が当たり前になっているので、お互いの連絡方法を広げる手だてを確立したい。現在、たとえば「Eメールアドレスを登録して連絡する場合、その会員の会費を減免したらどうか」「携帯電話番号や携帯メールアドレスを登録してもらったらよい」などの具体的提案も出されているので、この総会で会員の意見を聞き、その後の役員会などで方向を決めたい。

〔5〕青雲会ホームページは、第一歩を踏み出したが、若干停滞気味なので、これを充実させる。

〔6〕在寮生との交流を活発にして、今後の会の活性化を図りたい。

（4号議案）平成25・26年度予算案

・・・・・・当日配布いたします。

(5号議案) 青雲会役員改選(案)

[任期 平成26年度まで]

会長		竹内 伸二 (44卒)	[新任]	
相談役		堀田 幸雄 (33卒)	窪田 豊 (33卒)	
		山本 勇喜雄 (35卒)	井波 理朗 (38卒)	
		金岡 隆 (42卒)	[新任]	
副会長	富山支部長	多賀 正夫 (41卒)		
	神奈川支部長	小幡 定信 (33卒)		
	財務担当	毛利 裕之 (57卒)		
	総務担当	今村 彰宏 (45卒)		
	総務担当	大野 隆 (45卒)		
	総務担当	松倉 喜康 (63卒)		
事務局長	寮長	松山 信之		
会計		村井 良慶 (H15卒)		
監査		吉森 照夫 (43卒)	上田 律史 (47卒)	
常任幹事	大浦 篤司(40卒)	宮原 敏夫(46卒)	田中誠一郎(49卒)	
	杉田 正人(59卒)	橋本 浩史(H18卒)		
幹事	坂倉 修(32卒)	萩原 健(34卒)	堀田 滋(35卒)	
	島田 達巳(36卒)	三栗 崇(36卒)	竹平 潔(37卒)	
	森川 清久(37卒)	橘 幹郎(38卒)	坂田 信久(38卒)	
	源 良伸(39卒)	山田幸五郎(39卒)	坂 泰往(40卒)	
	板倉 宏明(42卒)	中山 慶一(43卒)	山下 富雄(44卒)	
	高木 繁雄(46卒)	荒井 行雄(47卒)	沼田 英司(48卒)	
	松岡 幸雄(48卒)	樋口 陵一(48卒)	升方 充(49卒)	
	柴田 健治(50卒)	青柳 茂(50卒)	武田 繁(51卒)	
	酒井 孝(52卒)	横山 泰造(53卒)	平田 泰(54卒)	
	島田 剛(55卒)	林 清淳(56卒)	柳田 孫肖(56卒)	
	岡田 一也(58卒)	金森 孝雄(58卒)	黒川 恒至(59卒)	
	岡 秀三(60卒)	河崎 裕二(60卒)	平野 博之(62卒)	
	中村 禎寿(H2卒)	江畑 賢一(H3卒)	小林 正明(H3卒)	
	安川 幸治(H5卒)	上出 拓也(H8卒)	稲崎 洋一(H9卒)	
	森永 知範(H10卒)	紅粉 保幸(H11卒)	氷見 聡明(H14卒)	
	木村 大輔(H15卒)	村井 正慶(H21卒)		

(欠員の各学年幹事については、任期半ばでも常任幹事会の確認で補充する。特にH16卒以降の役員については、例年話題にしつつもなかなか確定していないので、松山寮長と協議の上、早急に確定したい。)

北日本新聞から 訃報

石田淳（いしだ・きよし）さん（S36 卒寮）〔富山市助役を約17年間務め市町村合併に尽力した〕
争いを好まず、頼まれると断れない性格だった。妹の宇瀬輝子さん（71）＝富山市大泉＝は「おっとりとした、気の優しい人だった」と在りし日をしのぶ。

1938年、富山市の西町交差点の角にある23年創業の老舗喫茶店「純喫茶ツタヤ」の長男として生まれた。東大法学部を卒業し、63年に自治省（現総務省）に入庁。札幌市財政局長や同省準公営企業室長などを歴任した。中でも74年から77年まで宮内庁に出向し、昭和天皇の侍従を務めたことは、「長い公務員の経歴の中でも特異な部分」と自伝につづっている。

自治大臣官房審議官を務めていた52歳で退官。それから間もない90年7月、正橋正一富山市長（当時）の要請で市助役に就任した。その後、約17年間にわたった助役生活。前半では桐朋学園大学院大学の誘致などに携わった。

後半は7市町村の合併に尽力した。各市町村の助役による会議の座長を任せられ、市町村ごとにばらばらな事務事業の調整を担当。市と町村で意見の対立が大きいくちでの取りまとめは困難を極めた。当時の部下だった元副市長の杉原信介さん（69）＝富山市新庄銀座＝は「かんかんがくがくの議論が続き、どうにもならないと思ったことも、粘り強くまとめ上げた。決して大声を上げない温和な性格だったからこそ」と振り返る。

一昨年、肺炎を患い入院。その後の検査で心臓に異常が見つかり、昨年8月に手術を受けたが、予後は思わしくなく、3月18日深夜、入院先の東京の病院で妻の正子さん（66）にみとられて静かに旅立った。亡くなる約3週間前に繰り返し口にしたのが「今まで世話になった人にお礼を言いたい」。その言葉は今も正子さんの頭を離れない。

実家の喫茶店は昨年10月、再開発に伴い新装開店。旧店舗の調度品や照明に昔の面影を残しつつ、市内電車環状線やグランドプラザを見晴らせる開放的な店構えに生まれ変わった。再開発組合の副理事長を務め、公私両面でオープンを心待ちにしていたが、自らの目で確かめることはできなかった。宇瀬さんとともに店を切り盛りする夫の政厚（せいこう）さん（72）は心に誓っている。「義兄の思いをつなぐためにも一日でも十日でも長く店を続けていきたい」 2013年3月18日、75歳で死去

北日本新聞(昨年9月)から 松村謙三の業績学ぶ 福光で全国学生寮協議会が総会

全国学生寮協議会の秋季総会が3日、南砺市福光の松村記念会館で開かれた。東京にある学生寮の寮長や生活している大学生ら計35人が「学生寮の父」と呼ばれる福光地域出身の政治家、故松村謙三氏の業績に触れた。

松村氏は1955年の文部大臣時代、地方出身の学生が安心して学業に励めるように、学生寮建設を国や都道府県などに働き掛けた。富山県学生寮（東京都府中市）も、その時に創設された。

協議会は40寮で構成。秋に研修を兼ねた総会を地方で行っており、今回は時代の変化や施設老朽化で閉鎖する寮が出ている中、学生寮が造られた原点を振り返ろうと松村氏の故郷を会場に選んだ。参加者は富山県学生寮OB会「青雲会」会長の金岡隆さん（67）＝富山市出身、横浜市＝から松村氏について話を聞き、記念会館で業績を紹介するDVDを観賞した。富山県学生寮で生活する東京農工大大学院1年の上野雄輝さん（22）＝富山市出身＝は「富山県学生寮が学生寮の先駆けとは知らなかった。誇りに思う」と話した。

松村謙三記念館を訪ねる（随筆）

青雲会会長 金岡 隆

昨年9月初旬に福光町にある松村謙三記念館を訪ねた。旧福光町役場の広い一室に、松村先生のゆかりのものが整然と陳列されていた。初めて訪れる私ではあるが、松村先生の日中国交回復や自民党総裁選挙などなつかしさにあふれる一室であった。

私が早稲田大学の学生であった時に、松村先生はすでに80歳代であったが、日中国交回復に精力的に取り組む現役代議士であられた。早稲田大学富山県学生会の年中行事には多忙の中をよくおいで頂いたし、大隈講堂でも学生のために2回講演された。講演では必ず日中国交回復を説かれた。日中は2千年以上に及ぶ交流の歴史があり、一衣帯水の隣国は仲良くしなければわが国も世界も安定しない。共産主義を掲げているが、これは国をまとめるための方便だ。国がまとまって、豊かになれば必ず変わる。共産主義だから付き合わず対決する一方というのは愚かだ、というものであった。

昭和46年に先生は亡くなられたが、翌47年に日中国交正常化はなった。国交回復は確信されていたことであろうが、見届けていただきたかったと今でも思う。

ただ今日の中国を観ると、経済大国にはなったが一党独裁は変わらず、貧富、強弱の差があまりにも大きくなり、内外への横暴な覇権主義は目に余るようだ。松村先生はどんな思いで見守っておられることであろうか。日中の太いパイプ役・大人は、中国側にもいなくなってしまったのであろうか。

今回の訪問のきっかけは、今年の全国学生寮協議会の総会を松村謙三記念館で開催することになったことである。戦後の貧困からまだ充分回復せず、食糧難などで勉学に専念できない学生環境を憂慮して、時の文部大臣松村謙三が学生寮の設置を決定し推進することにした。富山県学生寮はその第1号として昭和31年に開設され、全国の学生寮が続いた。学生寮産みの親ゆかりの地を訪ねて恩人を偲ぼうということで今回の企画となった。やまがた学生寮の和田豊舎監が提案者である。和田氏は研究熱心で、学生寮の沿革を調べる過程で松村先生のことがあった。さらに松村先生について調べると、金権とは無縁の清廉大政治家であり、戦後すぐに就任した農林大臣として農地解放を成し遂げたことを知った。し

かも自らは50町歩を越す大地主であったが、率先して解放を实践したことも。さらに和田氏は親友の作家で評論家の佐高信が松村先生のことを書いた「正言は反のごとし」などの著書に触れてますますファンとなり、今回の訪問にいたった。和田氏と松山富山県寮長、大島愛知県寮長はこのために8月に下見までしている気合の入れようだった。余談だが、やはり8月に和田氏の寮仲間で親友の三浦美紀氏と佐高信が松村記念館を訪ねたとのことである。辛らつな人物評論で知られる佐高信であるが、松村先生に対しては相当の信奉者であるらしい。松村先生のことは何でも知っていることを自認する私であるが、松村記念館を拝見して多くのことを新たに知ることが出来た。最も驚いたことは、先生の早稲田大学の卒業論文が「日本農業改革論」であったことである。学生であった明治の時代からすでに日本の農業のあり方に目をむけ、方向性を確立しておられたことは何たる慧眼であろうか。こうした日本国のあり方への志と信念があつてこそ、農林大臣として農地解放という大胆な改革がなされたことであろう。

たくさん写真の中に先生とともに懐かしい顔を見た。若かりし頃の上埜健太郎氏、現県人会連合会副会長である。上埜さんは先生が代議士を退かれた後も、最後まで秘書として先生につききりであった。本来の秘書業務は勿論、運転手、ボディガードすべてをされていた。多忙のはずのご自分の仕事にもかかわらず、まさに献身そのもののボランティアであった。上埜さんも富山県出身の早稲田の先輩であり、私たちも学生時代からお世話になった。6月の懇親の集いで久しぶりにお目にかかったが、おっとりとした風貌はお変わらないままだ。あの当時の上埜さんは30歳そこそこであられたことを、改めて感慨深く思った。

松村先生のことを知る若者は少なくなっているようだが、今回のように先生の遺徳を偲ぶ方々が全国にいることは大変うれしいことである。おりしも、各党の総裁、代表選出が相次いでいるが、日本と世界の行く末を見据えて大次元の施策を実行する大政治家がはたして現れるのか。先生を偲ぶたびに現状への不安が増してくる。

事務局より

「全国寮長研修」は、平成24年9月2日～3日に開催され、県人学生寮の父 松村謙三さんの故郷「富山」を訪ねる、電力開発の原点・黒部ダムでエネルギー問題を考える、地域芸能の最高峰・おわら風の盆、幽玄の世界を満喫することなどを目的としていました。

参加寮、参加者は次のとおりでした（参加人数 35名）。

青森、やまがた、熊本、愛媛、佐賀、北海道、高岡武生、愛知、岐阜、高知 会津、東予育英会 奈良、香川 栃木、群馬、久敬社、鹿児島（寮生3） 富山（寮生2） 金岡青雲会長、前谷内高岡寮長
富山県学生寮からは 寮長、高野陽一、上野雄輝、金岡隆青雲会長が参加しました。

会 員 短 信(昨年9月27日の懇親会への出欠返信葉書のメッセージです。出欠の区別なく、メッセージが記載されていたものを載せます。古い情報ですみませんが、日付けは、昨年の9月が基準ですからご注意ください。)

訃報 返信葉書で訃報が届いていました。昭和35年卒の國香正之様の奥様(昌子様)から「去る平成23年10月3日に夫正之は病気の為永眠致しました。生前皆様には大変お世話になりました。故人になり代わりましてお礼申し上げます」とのお知らせがありました。ご冥福をお祈りします。また、昭和36年卒の石田淳様の訃報が北日本新聞に掲載されました。その記事を別掲し、ご冥福をお祈りします。

お名前	卒寮年	メッセージ
角崎 周市	S33	年相応ですが、元気ですごしています。盛会をお祈りします。
堀田 幸雄	S33	今回届いた会報(21号)は、3~6頁が欠落し、会報の体をなしていない。残念!!
林 章	S33	故杉山寮長の絵画が福島県から寄贈されたらというニュース、富山県内でも大きく報道されました。入寮して以来、先生の薫陶を受けた小生には、久し振りに先生の話に接する事ができ、喜んでいきます。一度、絵を観たいものですね。後期高齢者となれば、段々と体力の衰えを感じています。一病でなく、多病息災といったところでは。追伸/会報の中味(3~6ページ)が抜けていました。
中島 良和	S33	元気です。今年は油絵を「上野の森美術館」の「日本の自然を描く展」に出品して入選し、1週間ほど展示され、個人的にはお祭りさわぎでした。
高野 三郎	S34	ご盛会を祈念しています。都合悪く出席できず、残念です。週2日ドラッグストアに勤め、他、近くで畑を借りて、家庭菜園を楽しみ、膝関節の筋力を鍛えております。
和田 拜宏	S34	H24年度を以って青雲会を退会いたします。
高橋 幸男	S34	一病息災、ご盛会をお祈りします。
家森 長生	S34	青雲会のお世話御苦労様です。町内会の御世話を引退し、毎日孫(小学生2人)との接触に若さを吸収しています。年に数回、古寺見学を行ない、日本文化の素晴らしさに感動しています。平成11年父がこの世を去る以前は神社に行くが、寺に近づきませんでした。四国八十八ヶ所巡礼、西国33ヶ所巡りを体験し、心のいやしを身に覚え、経済面を除き、充実した人生を送っています。みなさんによろしく。
矢部 貴勇	S34	元気で頑張っております。皆様によろしく。
中林 信義	S34	70後半でも漬垂れ小僧。学ぶことが多いこの頃。山登りが楽しい。
種谷 祐治	S35	ご盛会をお祈りしております。
手崎 義樹	S35	日々無事に過ぎて居ります。
堀田 滋	S35	先約の会合があり、出席出来ませんのでよろしくお願い致します。ご盛会を祈ります。
梶谷 正治	S35	自治会の世話も終え、趣味を楽しんでいます。
棚田 義盛	S36	富山で開催の際は出席したいと考えております。盛会を心から祈念申し上げます。
名越 通雄	S36	自由生活6年目に入りました。健康にもめぐまれ、好き勝手に毎日楽しく過ごしています。盛会をお祈りいたしております。
熊野 繁喜	S36	総会に出席できませんので、今後案内も無用です。
島田 達巳	S36	生憎旅行の先約があり、出席できません。年々、薬の種類が増え、多病息災ですが、元気にスローライフを送っています。次の機会に出席させて下さい。
三栗 崇	S36	ロンドンオリンピックは各種目の活躍でうれしいことでした。日頃はヒマなんです。時々忙しくなります。皆様のご健康をお祈りします。

上野 洋靖	S37	元気です。ときたまのテニスとゴルフを楽しんでいます。別件があり失礼します。御盛会をおいのりします。
森川 清久	S37	残念ですが先約があり、出席出来ません。御盛会を祈ります。なお、当方は元気にしております。
竹平 潔	S37	ご盛会をお祈り申し上げます。孫が5人(大学生2、中学1、未就学者2)3才～16才と年が離れた孫に囲まれています。この9月に孫娘がダブリンにあるUCD大学に入りました。ヨーロッパの話が楽しみです。私は水泳と囲碁を楽しんでいます。
高林 英紀	S37	毎日平々凡々と過しています。富山市民大学で3教科、郷土史等の講演会などに参加・出席、新しい知識を吸収しています。
江幡 実	S37	変形性膝関節症に約10年悩みながら、ガンバッテいます。(ゴルフはカートのおかげでやっています。)近くに日本ハムの二軍の球場があり、イースタンリーグの公式戦を年間入場券を求め、見に行っており、有名選手も来ており、ベンチの後、ネット裏など、近くで見られます。
寺西 英進	S37	退会します。よろしくお願い申し上げます。
越田 紀久夫	S37	元気です。ボケ防止の為、大学で英語の教育を受けています(生涯学習課程)。50年も経ちますと、懇親会では顔見知り的人也少ない(殆どいない)ので、出席を控えます。
井波 理朗	S38	いつもお世話になり有難うございます。理由不明ですが、何だかわからないまま忙しい目にあっています。ひょっとしたら、老化のせいで、そう感じるだけかも知れません。
坂田 信久	S38	久しぶりに”お盆”を富山で過ごしました。妹夫婦の案内で幼稚園時代に住んでいた福光を訪れました。70年近く行っていませんでしたが、記憶とおり道の両側を用水が流れていました。中部高校のサッカー部のOB会では怪我が怖くてボールを蹴りませんでした。懐かしい仲間と会えて楽しい一日でした。小学校時代の友人に総曲輪で四方のお魚をご馳走になりましたが、東京では味わうことができない美味しさでした。半分仕事で不振の”カタールレ富山”にエールを送ってきました。あつという間の4日間でした。
遠藤 安昭	S38	ご盛会をお祈りします。ファーム大島の会員です。(水稻、チューリップ、キャベツ、ヒマワリ、大豆、枝豆の栽培)特に枝豆(タンクロウ)は最高のツマミです。
山田 幸五郎	S39	北方謙三にハマってます。三国志(全13巻)、水滸伝(全19巻)、揚令伝(全15巻)、岳飛伝と、今も続いています。
源 良伸	S39	幹事諸兄にはいつも御苦勞様です。大阪住まいの年金生活の年寄りには、東京へ出かけるのは大仕事、残念ですが欠席します。おかげ様で現在はいたって健康的、冬のスキーに備え、週3回のテニスで汗を流し、晩酌を欠かさず楽しんでいます。盛会を祈ります。
飴谷 清	S39	ご盛会をお祈りしています。
山本 欣正	S39	平成21年1月に97才で父が亡くなり、続いて現在満93才の母の介護に明け暮れています。故杉山寮長先生の絵が里帰り、うれしい事です。平成16年暮から看護のかたわら下手な俳句を続けています。”墓洗う寮父の背ナを偲びつつ”H24年8月
野畑 圭造	S40	退院後、治療に専念しています。ご盛会をお祈りします。
島田 徹	S40	健康に恵まれ、感謝の気持ちで毎日を送っております。ご盛会と卒・在寮の皆様様の益々のご健勝、ご活躍をお祈りしております。
吉村 彰芳	S40	いつもご連絡いただき有難うございます。週に2日、大学で講義を行っています。ご盛会をお祈りします。
大浦 篤司	S40	皆様にお会い出来るのを楽しみにしています。
八坂 哲雄	S40	御盛会をお祈りします。

松倉 崇	S40	「青雲会会報」を毎回お送り頂きありがとうございます。後期高齢者目前になり、身边を少しずつ整理しております。今回をもちまして退会させて頂きたいと思っておりますので、よろしくご手配下さい。今後の会報送付その他、ご無用に願います。ありがとうございました。(松倉内)
藤田 隆彦	S41	本年仕事を卒業しました。本青雲会も卒業致します。今後案内は無用と存じます。皆様に宜しくご伝声下さい。
前沢 紀夫	S41	北日本新聞の記事で福島から富山県学生寮へ、故杉山さん(初代寮長)の絵寄贈という文字を見て、本当に学生時代の思いがよみがえってきました。来年の富山での総会には出席します。
的場 信良	S41	自治会、公民館のお世話をしています。お世話御苦勞様です。
多賀 正夫	S41	恒例のハワイアンイベントが終った頃なので、行ける予定です。
場家 英範	S41	猛暑を乗り越え、何とか頑張っております。ご盛会をお祈りいたします。
寺田 浩二	S42	体調をくずしています。
村藤 仁昭	S42	2011年5月に感染症から敗血症となり、年末まで入院治療、リハビリ等に費しました。2012年は自宅で療養、リハビリ等、ゆっくり過ごしています。住所変更しました。よろしくお願います。
久保 銚司郎	S43	みなさまのおかげで健康を回復し、上市町観光ボランティア、上市そば道場、北アルプス混声合唱団、社交ダンスクラブ等に所属し、楽しい日々を過ごしています。また老後に備え、料理教室、俳句・短歌教室等に通って、ボケ防止に努めています。ご盛会をお祈り申し上げます。
深山 信夫	S43	1. 高齢の父母の介護。富山へは頻繁に帰省しています。 2. 現在もオックスで勤務しています。 盛会を祈念申し上げます。
中谷 良平	S44	当日は仕事の為に出席出来ません。今年の夏はロンドンオリンピックが開催され、団体が素晴らしく、とても感動を受けました。東北被災地や全国民に勇気と感動を与えたと思います。又富山県で全国高校総合文化祭が8月に開催しました。私は18年前娘が愛媛県で開催された大会に書道部門で作品を出展した時を思い出し、魚津アリンドームへ行って来ました。どの作品も力強く、エネルギー溢る作品でした。
吉森 寿信	S44	ご盛会をお祈り致しております。一度、東京の総会に出席したいと思いつながら、今年も残念ながら願い叶わずです。
松井 久義	S44	御盛会をお祈り致します。
細川 興一	S45	最近、この国のあり方を考えるに当たり、特に若者と向かい合うことが重要であると思っています。「絶望の国の幸福な若者たち」(古市憲寿[1985年生まれ]著、講談社)―論争的な若者論”を読みました。一度、機会を得て、寮生の皆さんと種々論じたいものです。
佐々 幸雄	S45	お世話ご苦勞様です。
杉原 政美	S45	次回より連絡不必要です。
石黒 純一	S45	福島原子力発電所事故の後の対応や議論を見聞きしていると、歯がゆく、情けなくなります。
小林 忠造	S46	前の会社を定年退職した後、2年間程悠々自適の生活をしておりましたが、今年の6月から、石油・ガス・金属資源開発関連技術の特許化のお手伝いをしています。
上野 慶夫	S46	その前週に上京、タイミングあわず欠席致します。杉山先生の絵が発見されたとのこと、誠に幸いでした。
笹倉 信行	S46	会社名が会社合併によりNTT番号情報からNTTタウンページに変わりました(メールアドレスも変わりました)。あとは公私ともに変化はありません。
米澤 政則	S46	世の例にもれず、田舎のシャッター街でほそぼそと38年間も、喫茶店を営んでおります。今度の9月23日に新湊大橋が開通します。”立山連峰と日本海”是非、お立ち寄り下さい。追伸/先日、ひよんな縁で、俳優の江口洋介さんが来店してくれました。一緒に写真もとらせてくれました。

上田 律史	S47	相続税の増税が予定されているからか、最近相続に関する相談が多いようです。
川上 留嗣	S47	会社はほぼリタイヤーし、富山の田舎でゆとりの時間を楽しんでおります。
市井 善博	S47	昨年(2011年)5月、4年間のオランダ勤務から帰国、今年(2012年)4月に退職し、年金族に仲間入りしました。2つの合唱団で歌三昧の生活です。
大野 博昭	S47	名古屋で弁護士開業し、30年近くになります。若い弁護士を育てています。合気道は20年以上になり、3段です。300㎡の農地を借り、果樹園を夢見ています。
羽黒 敏雄	S48	今年7月より(株)ホクタテ・立山国際ホテル(株)に勤務、例年青雲会新年会にご利用いただき、感謝申し上げます。今回残念ながら出席できませんが、皆様によりしくお伝えください。
松岡 幸雄	S48	6月末に、39年勤務した北陸電力を退社し、現在北陸電気工事に勤務しております。60才を超え、大部年もとりましたが、新たな気持ちで日々生活していきたいと思っております。
中塩 知男	S48	藤田さん、島田さんを偲んで、一度、一杯やりませんか。
島原 徹	S49	富山県山岳連盟の指導を受け、安全に留意した登山を楽しんでおります。
田中 誠一郎	S49	退職し早2年、相変わらず東京と富山の両方の家を守り、暮しております。
松原 信之	S50	定年退職ののち、再雇用にて引き続き会社勤めをしています。私生活と社会貢献のため生きていきたいと考えています。
青柳 茂	S50	盛会をご祈念申し上げます。60才に到達しました。
柴田 健治	S50	3月に定年退職し、4月から新しい職場に勤務しております。
安村 良成	S50	定年より1年早く退職し、第2の人生をスタートしました。柄にもなく、男女共同参画推進の業務に携わっており、公益財団法人化、指定管理者制度に取り組んでおります。
三ツ塚 哲二	S51	青雲会の益々の発展を祈念致しております。
松井 泰治	S51	8月の保護者会に出席させていただきましたが、学生寮の伝統が、しっかり現役寮生にも引き継がれていることが確認できました。
関口 信隆	S53	盛会を祈念しております。
早川 昭	S55	昨年4月より三協立山のグループである三協インシュアランスサービス(株)に出向いたしました。
毛利 敏	S55	32年ぶりに寮生仲間と飲む機会を得ました。寮生仲間はいいもんだ。
黒田 順郎	S56	ご盛会をお祈りします。
林 清淳	S56	8月11日にS55～S59卒の有志の集まりがありました。30年ぶりに会う人もあり、幹事役の高田慎二君(S58卒)ご苦労様でした。
奥田 昌義	S60	ご盛会をお祈りいたします。
林 不二男	S62	今年から学校法人設立しました(学校法人和楽学園富山ビューティーカレッジ)。
有沢 徹	S62	ご盛会を祈念しております。
松倉 喜康	S63	娘が大学一年生になり、私も寮生諸君の親の世代となりました。
杉原 信行	H	昨年4月より東京から名古屋へと転勤しました。富山に近くなりましたが、九州から中京まで、仕事の範囲が広くなり、多忙な為、帰省もままなりません。ご盛会をお祈りします。(母代筆)
江畑 賢一	H3	ご盛会をご祈念申し上げます。
中井 徹志	H4	ご盛会を祈ります。元気で頑張ってます。
澤田 健一郎	H9	いつも有難うございます。会費今までの分まとめて送ります。よろしくお祈りします。(つつい忘れてしまつてすみません)
榎木 勝規	H10	ようやく資格を取ろうと勉強中です。

竹田 茂	H14	予定が合わず参加できませんが、盛会をお祈りします。
立田 幸浩	H15	学級運営、教材研究、生徒指導などに忙しい日々を送っています。
村井 良慶	H15	来年の富山で開催される総会の件ですが、是非とも8/10(土)でお願いします。(金融は暦通りの休みになりますので)欧州問題の長期化、中国、アメリカの変調が、日本にも暗い影を落とし始めました。今回の世界的な調整はどれも長引きそうです。このような厳しい環境下で、金融マンの手腕が試されているのかも知れません。
大倉 淳二	H20	富山の实家に届きましたので、代筆で送らせて頂きます。ご無沙汰致しております。学生寮におりました際は大変お世話になりまして、ありがとうございます。親といたしまして、感謝申し上げます。本人は卒業時と同じく監査法人で頑張っております。今回残念でございますが、仕事の為、欠席との事でございます。
寺口 優樹	H23	日々充実した生活を送らせて頂いております。ご盛会をお祈り申し上げます。
永井 慎一	H23	当日は都合が悪く、出席できません。ご盛会をお祈りします。
前川 晃太郎	H24	いつもお世話になり、ありがとうございます。本人は現在メキシコへ1カ月ほど旅行中です。帰国は9月27日の夜になるので、懇親会は欠席します。17日からグアナフアトでホームステイをしてスペイン語の語学学校に通うと言っておりました。(晃太郎の母より)
沼 健太郎	H24	ご連絡いただきありがとうございます。今年3月までの4年間たいへんお世話になりまして、誠にありがとうございました。「理屈」の多い男でかなりご迷惑をおかけしてきたのでは、と思います。今は大阪大学大学院で連日遅くまで勉強漬けになっているようです。留学生が多く、英語で行われる授業に苦労しているようです。今月9月は国連のインターンとかでバングルデッシュに行くと言っておりました。今後ともよろしく願いいたします。貴寮の繁栄をお祈りいたします。(父・沼 逸郎)

事務局から

★総会・懇親会案内をお届けします。どうか総会・懇親会にお越しください。

★上記「会員短信」に掲載した皆さんのほか、以下に掲載する方々から、出欠の返信をいただいています。特にメッセージが伝えられていませんので、お名前だけ記載します(敬称略)。()内は卒業年です。

窪田豊 大門義一(S33) 石崎尚彦(S34) 斉藤公正(S35) 笹倉征夫 天池稔 山本公也 中村一男(S36) 松瀬邦夫(S37) 八木建巳(S38) 斉藤浩一(S39) 海野幸則(S40) 武内宏治 舟渡征男 向正(S41) 関口繁次 金岡隆(S42) 里見大作 森田征夫(S43) 遊田董夫 武内伸二 野上諒 小林孝司 黒田治男(S44) 松下真一郎 大嶋巖(S45) 宮原敏夫 津田清(S46) 米澤秀和 大村勝(S47) 綿谷忠比己 横嶋信生(S48) 船木昭寿(S49) 榊山勉(S51) 酒井孝(S52) 本田忠幸(S53) 高井武(S54) 蟹谷哲(S56) 安田博樹(S57) 杉田正人(S59) 岡秀三 廣田孝博(S60) 白石信行 多田博(H3) 安川幸治 吉澤浩司(H5) 小柳好夫 中島和弥(H10) 高多康弘(H12) 若林勇次(H13) 三村翔太(H16) 三箇一也(H20) 高松裕史(H22) 中屋貴大 松井直樹 谷口翔太 永森俊亮(H23) 岡崎亮平 尾島泰介(H24)

★今回メッセージを整理していて、「退会したい」という声がとても多いのに困惑しています。とりあえずそのまま掲載し、かつ退会を申し出られている皆さんにも今回の総会案内をお送りしています。総会で会員諸兄のご意見を伺い、対処方を定めたいと考えております。

★現在の寮の様子などをもっと掲載すべきですが、紙面の関係もあり、載せられません。ぜひ皆さんホームページなどでご覧ください。URLは、<http://www.toyama-ryo.or.jp/> です。それでは、8月10日の総会・懇親会にお出かけ下さい。お待ちしております。また、皆さんもHPなどで情報を確認して、寮を尋ねてみて下さい。(大野・記)